



令和5年度「土佐文旦振興対策協議会」が開催されました。

今年で結成14年を迎える「土佐文旦振興対策協議会」が、2023年7月18日、高知会館にて開催されました。今年の講演は、井上石灰工業株式会社 営業本部 育種グループ マネージャーで、高知トマトサミット実行委員長の、大畠宏史さん。悩みが多かった時期、200冊もの本を読み、そこから得た知識を商品開発や販売に活かす努力をしてこられたお話や、トマトサミットにまつわるお話など、穎やかで理論的でありながらも、熱く心に染み入るお話をしてくださいました。

また、昨年、私達は、土佐文旦アンバサダーの大先輩、上原恭子先生という大きな存在を失い、悲しみにくれていましたが、今年は、上原先生の東京のお仲間が、新たにアンバサダー仲間に加わってくださることになりました。

会議後の懇親会では、土佐文旦振興対策協議会会长として、長年会をまとめてくださった青木秀成さんに、西込浩一新会長から、花束の贈呈がありました。花束の中に、花粉付けで見慣れている石松子（せきしょうし）の色が入っているという説明を受け一同が爆笑する場面も。今後も、永久顧問として、末長くよろしくお願いいたします。



ちらの会でも「同じ季節に収穫される柑橘仲間」水晶文旦をご堪能いただけました!

「キノジン」のプロデューサーでもある Bar
ops のオーナーパーテンダー塩田貴志さん
案。土佐文旦の皮を使用した「マキノジン・
文旦フレーバー」(クラフトジン)も、お客様
大好評でした。



「イシ」の金井史章さんから、「是非「2023実行委員会」という組織主催の「Hレ・カーソンさんとともにた高知銀行の河合祐子副頭取（元日

「土佐の酢みかん文化と土佐寿司を探究する会2023」at 土佐料理司